



定まれません
コロナ禍で生
活困難する人々
を救え、行政へ
声を上げてい
く取り組みに
広がっています。

おいしい水を守れ 広域水道はメリットなし

城陽支部 亀井成美さん

城陽の地下水、おいしい水を守ろう
水道の広域化・民営化が大きな問
題となっています。城陽では「安くお
いしい地元 城陽の地下水を」のポスター
をどんどん地域に張り出そうと取り
組んでいます。

いま、一斉地方選へ向けて、各党のポ
スターがあふれますが、「このポスター
なら・・・」水道問題のポスターは、あ
まり抵抗なく貼らせてもらえます。そ
して、選挙期間、各党のポスターは撤
去されますが「地下水の水道を守ろ
う」の会のポスターは残り、目立ち始め
ます。「私たちの要求」が、肝腎なこ
ろで輝き始めるのです。

今度の選挙、私たち住民の要求を
はつきり示し、それを実現する議員を
選ぶ選挙にしていきたいと思います！

新幹線推進派に 混乱と焦り広がる

北上支部 藤井彰書記長

北陸新幹線の、京都を経て新大阪
に延伸する計画について、何が問題な
のか考えてみましょう。いろいろな問題
が考えられますが、特にこの大きな
問題があります。①費用の問題。建
設に必要な経費、維持し運営するの
に必要な経費と、収入が合うのか。合
わないときは誰が負担するのか。2兆
1千億円以上といわれる建設費がいく
らまで膨れるのか、地元負担額がいく
らになるかは、全くわかりません。②環
境の問題。新幹線の建設が環境にと
んな影響があるのか。特に、北陸新幹
線京都延伸では、京都府・京都市の
地下40メートルに、直径15メートルの
トンネルを掘削することが、大きな問
題になっています。こうした反対の運動
が勢いを増す中、推進の立場の人の
間にも、動揺が広がっています。京都
駅の地下に新京都市駅を作るのは、い
くら何でも無理だから、地上駅にしよ
う。京都駅地下は無
理だから、梅小路の
地下にしよう、あるい
は亀岡に京都駅をつ
くろう、北陸新幹線
の延伸の当初案・米
原ルートにしよう、な

北陸新幹線延伸は いったん中止断念を

北桑田支部 中村澤三書記長

地域を守り続けたいと願う住民と
美しい自然に魅せられて移住してこ
れたみなさんの、心一つにした異議
申し立てによって、着工が先送りされ
た新幹線工事。よほど堪えたのか、今
度は美山町に駅を作るとの爆弾発言。
これには真つ先に南丹市長から、そん
なことになれば地元負担金で南丹市
が潰れてしまうと悲鳴が上がりまし
た。この国はいつまで、工事そのものが目
的の大型開発を続けるのでしょうか。
身体の具合が悪くなるときに診て下
さるお医者さんに、せめて自宅から30
分くらいの所において欲しいという、まさ
に命がけの願いさえ叶わなくなるこ
とに怯えている私たちに對して、政治が

どう向き合っ
てくれている
のでしょうか。



向日市長選挙 安心の街づくり 暮らしやすい自治体へ

向日支部 山本泰男支部長

向日市長選挙で「高齢者」に優
しい「まちづくり」の実現をめ
ざします。

「ハコもの中心」のまちから
「市民中心の」まちへ木下秀美
さんが向日市長選挙(4月16日
告示23日投票)に立候補表明
されました。

木下秀美(61歳)さんは向日市
内の中学校に通っていた長男を
自死で失ったことを契機にほつ
とできる未来を一緒に、発達障
害、不登校、生きづらさの人間
関係について、相談活動を親身
になって行う「教育と人間関係
の相談室カナン」を運営されて
います。

また、アコースティックギター
弾き語りを中心とした音楽活動



木下秀美さん

もなっています。

3月3日開催された、向日支
部が参加している「向日市新し
い民主市政をつくる市民の会」
(略称・市民の会)で木下秀美さ
んを推薦決定しました。

向日支部は3月7日の支部4
役員会議で推薦決定を行いました。
「高齢者」に優しい「まちづく
り」実現をめざし、木下市長実
現のために奮闘しますので、全
府的な支援をお願いします。

亀岡支部 小川正副支部長

補聴器購入費助成制度の創設
を求める取り組み

1昨年から年金者組合、社保
協、生健会、健康友の会、退職
教員の会、府職員退職者会、新
婦人の7団体で連絡会を結成し、
学習会の開催や実態調査等の取
り組みを進めてきました。

現在、6月市議会での請願採
択を目指して3000名を目標
に署名行動に取り組んでいます。
今後、各地域の老人会等にも協
力を求めて運動を広げる予定で
す。署名と宣伝を兼ねてスパー
前での街頭署名も実施します。
併せて耳鼻咽喉科の医師に対す
る働きかけを重視しています。
近々亀岡市内の5医院を訪問し
署名への協力と4月に開催予定
の学習決起集会での報告も依頼
する予定です。



1998年10周年の行動参加者 半数がご健在

全日本年金者組合八幡支部は、1998年12月に設立準備会を立ち上げ、1989年6月25日に支部結成大会を開催、組合員32人でスタートしました。全国的な年金者組合設立にあわせて

支部創立は98年6月

支部紹介⑪ 八幡支部

5つのサークルが元気に活動

「食プロ」で社会的連帯広げて

八幡市でもと年金者組合の設立が進められました。

みんなで歩こう会や伏見の酒倉巡り、名所巡りなど、楽しみ7分の活動を進め、結成10年目に90人となりました。未年金の会員が3分の1を占めちよっと変則的でしたが、その後、増減を繰り返し、2022年2月現在100人の組合員となっています。「仲間を増やし続けなければ、組合員は減り続ける」あらためて感じさせるものです。

大阪と京都の中間で

支部では現在、歌う会、カラオケ、囲碁サロン、写真同好会、健康麻雀サークルの5つが登録しています。それぞれ元気に活動しています。また、民商、新婦人、生活と健康を守る会と共同で子育て応援食材提供プロジェクト(略称食プロ)の活動も進めています。

八幡市は大阪と京都のちょうど中間にあり、大阪、京都へ通勤する労働者の町です。どちらかと言えば京都より大阪の労働者が多いかもしれません。京都より大阪に



23年1月新春のつどい

労働者が約4割です。

親近感を持つ人が多い気がします。組合員も、大阪で働いていた労働者6割、京都府での

設立当初は、現役時代労働組合での活動に参加していた人が、退職後は年金者組合への流れで年金者組合に参加するという方が多かったのですが、最近では、サークルや、食プロ・組合員とのつながりで加盟する方が多い様です。

八幡支部の課題は、分会や班を作って活動することです。日常的に組合員同士が交流し、親しくなること。本当の意味でひとりぼっちの高齢者をなくすことにつながるものと思っています。楽しみ7分、活動3分の年金者組合、ひとりぼっちの高齢者をなくし、みんなで、生きがいや、楽しみ、趣味などで生き生きと暮らせる、年金者組合でありたいと思っています。

(森下秀一支部長)

ワンショット

どんぐりが大好きなアオバト

ハト目 ハト科 アオバト属



都市公園でアオバトの小さな群れに出会った。高い松の木にとまっていたアオバト。動きはほとんどなく眠っているような様子や大きく羽を広げる動作を見ることができた。アオバトは20羽を超える群れをつくっているが、いくつかの小さな群れが集まっているものらしく、10羽の時もあれば20羽の時もあり、1羽の時もある。

夕刻になると地上に降りて大好きなどんぐりを丸呑みしていた。警戒心が強く、散歩の犬や人の気配・何かの音に反応しすぐに飛び立つ。

ちなみに緑色をしているのになぜ「アオバト」とかということ、昔の人は緑色も含めて「アオ」と言っていたそうです。緑色に染まったアオバトの姿は飛んでいる時でも緑が映えて美しい。(浜)

京都年金者文芸



俳句

寒明けや草の名前をを夫に問う
オリオンの雫こぼれん槍ヶ岳

佐藤 総子
中川 美穂

以上饗年金者しんぶん

ピラ配りちゆう踏させるし細雪
立砂の裏くつきりと残り雪

野末たけのり
平林 直美

以上宇治・久御山ねんきん

初春や歌舞練場のい列の二
カ二鍋の湯気のおこうに孫揺るる
二階への階段は急寒稽古

延美
洋子
真菜

以上年金の仲間北上

冴ゆる夜猫と目が合う午前二時
雪解水谷いっばいの響きかな
ひそとした庭の彩どり冬芽たつ

中野 忠樹
大野ひろみ
中田 範子

以上北葉田支部

雪掻きて幅にひとりの暮らしあり
湯あがりの嘔ふたつの余寒かな

実千枝
寿美恵

以上舞鶴年金者しんぶん

節分は一夜の鬼の晴れ舞台
枯木立枝先天へ伸びんとす

吉田 武彦
宮下 広美

以上これからだ(福知山)

蘆山寺の鬼着ぶくれて怒りけり
箒手にしばし山茶花見惚れおり

宇野 正巳
井上 睦子

以上ねんきん城陽

寒つばき吹雪にも堪え赤く燃ゆ
恵方巻き恵方は問わず切って食う

勝野 修子
伊藤 哲英

以上ひがしやま(東山)

春めくや朝の体操路地に出て
吉田山詣る爺じ婆は祈る

広田 浩三
尾崎 雅一

以上なかも下京

梅咲けど未だ鶯鳴かず声待たる山本三枝子(西京)

年賀状古き友より届きしも
今年が最後と書く人の増ゆ
軽やかな羽根つく音とこどもらの
声響きあう新年の朝
寒い日は子どもを思い出す
雪で遊んだ故郷の山
以上宇治・久御山ねんきん

この冬の寒さと冷たさ思われる
満開のカネノナルキ揃ってぐんにやり所川和美
春の雪散歩をねだりし愛犬は
一瞬たじろぎ足を踏み出す
以上饗年金者しんぶん

話したきことども溜り居り候
他界のあなたへ便りもならず
直売所冬の光の届きいて みかん
きんかん・ぼんかん並ぶ
我が植えし杉の一樹の折れる音
豪雪止みし夜の静寂に
冬日さす浅瀬に集う水鳥よ
平和なるかな縄張りもなく
以上舞鶴年金者しんぶん

立ちくろみ足元とられへたりこむ
腰の痛さに老いを知る
唐櫃越え大枝の秘境へ今日も来た
猿や鹿たちハイクの仲間と
新しき命持ちたるる寒き日に
梅咲きはじめ心はずみぬ
山里の家は人手に渡りしも
変わることもなく咲く寒椿

川 柳

田中康嘖(西京)
大橋歳彦(西京)
芝喜久美(右京)
田中敬恕(城陽)

大由里千代野
野垣幸子
山口妙子
山口至江

川畑てる子
福永真理
祐谷知須美

義理チヨコも仕事やめればもう終わり
義理以外ないのも淋しチヨコレート
以上年輪西京

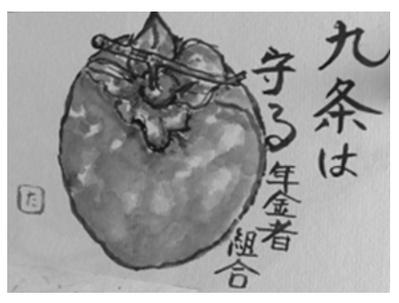
陽子
美夜生

地下化する守る対策市民無し
千龍子(舞鶴)



短歌

趣味の紹介



絵手紙 伏見支部 寺澤幸子さん(左) 相楽支部 松田孝枝 さん(右)

姉の影響で 「うたごえ」に目覚め

アコーディオンと共に

国鉄に入り 組合運動も

メーデーや労働組合の決起集会に「うたごえ」は欠かせません。そこにアコーディオンがあれば、歌声はもっと力強くなります。伊藤公平さんは国鉄で働きながらアコーディオンを生かし、職場の「うたごえ運動」をリードしてこられた方です。

きっかけはお姉さんでした。高校生の頃に「うたごえ」の歌をたくさん教えてもらい、楽しくてずっと続けたいと思えました。高校卒業後は



国鉄に入り、大阪・鳥飼にあった車両所に配属となります。するとラッキーなことに職場に「うたごえサークル」があったのです。すぐに組合に入りサークルにも参加しました。

そこには高価で自分では買えないアコーディオンがあり、週刊「うたごえ新聞」も届きます。新聞には新譜が2曲載っているの、仕事の合間に覚えてレパートリーをどんどん増やしていきました。さらに自分たちでも闘いの歌を作り広めていきました。

当局のマル生攻撃に 抗し反撃勝利した

当時、国鉄当局が生産性向上を目的とした「マル生

輝いて元気に

いとうこうへい
伊藤公平さん (綾部支部 75歳)

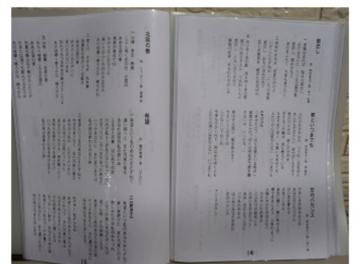


運動」を進め、組合員の切り崩しを行っていました。これに対抗する組合側は、「座して死を待つよりは、立って反撃に転じよう」と大決起集会を開きます。そこで伊藤さんは先輩と「うたごえ」をリードするアコーディオンを担当、まだ入社して3、4年の頃でした。1千人を超える組合員が組合旗をなびかせながら「俺の旗」を歌いあげる光景は圧巻で足が震え、今でも忘れられないとのこと。集会後は組合に入る人たちが

が増え国鉄当局に勝利、さらに当局は不当労働行為をしたとして国会で陳謝する事態となりました。

仕事は車両の 修理一筋

ところで伊藤さんは一貫して電車の修理を担当する車両所で働いてこられました。「運転士を目指されなかった？」という愚かな質問には「運転士は、運転した距離に応じて加給され収入は多くなるけど泊まりや夜勤もある。仕事に縛られたくない」「昼間に働いて、夜は家族や自分の生きがい大切にしたいかった」というお答えでした。伊藤さんは綾部で一人暮らしをする高齢の母が気にかかって



いろんな歌を載せた自作の歌集

いて、定年後は綾部に帰りたいと考えておられました。しかし大阪で暮らした妻や子が、友人もない綾部に一緒に帰ってくれるのは難しいかとも考えておられたのですが、伊藤さんの日頃の家族思いが通じたのか家族5人全員で引っ越してこられたとのこと。「とても感謝しています」と真面目に話されました。

帰郷された綾部にも歌うサークルがあって、今は公民館などで「うたごえ喫茶」を開き、お年寄りにも喜んでもらっています。新しい歌「おいしい給食」を作った広めたり、仲間たちと府民音楽会に出場したり、メーデーや旗開きで演奏したり、伊藤さんの活躍の場はまだまた続いています。

(取材 矢吹美根子
西田美津子)